

# “大学での学び”体験

この春、白梅で見つけよう、私の未来

OPEN  
CAMPUS  
2016 春

3/20 [日]  
10:30~16:00



## 子ども学科 I

乳幼児の世界のおもしろさ  
(近藤幹生 教授)



## 発達臨床学科 I

子どもはなぜしゃべれるようになるの?  
—発達心理学から考えてみよう—  
(廣澤満之 准教授)



## 家族・地域支援学科 I

地域の「居場所」って  
どうやってつくるの?  
—家族・地域支援学から考えてみよう—  
(森山千賀子 教授)



## 保育科(短期大学) I

虐待を受けた子どもの理解と  
保育者の役割  
(中山正雄 教授)



## 子ども学科 II

子どもは自然をどのように  
科学しているのでしょうか  
—理科教育学からみた子どもの発達—  
(中林俊明 准教授)



## 発達臨床学科 II

不思議を信じる心理学  
(倉澤寿之 教授)



## 家族・地域支援学科 II

幸せて何?  
~福祉の視点で生活を見る~  
(井原哲人 講師)



## 保育科(短期大学) II

オトナになると何故、  
えがく・つくるのが苦手になるの?  
—子どもの遊びから考えてみよう—  
(花原幹夫 教授)

1回目と2回目では、ぜひ異なる学科の授業に参加してみよう!

当日の  
スケジュール

10:30~11:20 学部・学科説明&入試ガイダンス > 11:30~12:20 体験授業 I > 12:20~13:20 100円ランチ > 13:20~14:10 体験授業 II

時間内随時実施/キャンパスツアー、個別進学相談ほか

キャンパスランチ(100円)も体験!

体験授業  
事前  
申込制

対象	新高校3年生 新高校2年生 保護者・先生	定員	体験授業 I	子ども学科、発達臨床学科、保育科(短期大学) ……各100名
			体験授業 II	家族・地域支援学科 …… 50名 発達臨床学科 …… 100名 子ども学科、家族・地域支援学科、保育科(短期大学) …… 各50名

※申込方法については、裏面を参照してください。

ここから夢が動き出す。

白梅学園大学

白梅学園短期大学

子ども学部(共学)

保育科(共学)

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830 <西武国分寺線「鷹の台駅」下車 徒歩15分> Tel.042-346-5618 Fax.042-346-5652  
E-mail.koho2@shiraume.ac.jp ホームページ <http://daigaku.shiraume.ac.jp/> 受験生サイト <http://juken.shiraume.ac.jp>

# “大学での学び”体験

SHIRAUME GAKUEN OPEN CAMPUS 2016 春

学科名		体験授業のテーマ	担当教員	定員(人)
白梅学園大学 子ども学部 (共学)	子ども 学科	I 乳幼児の世界のおもしろさ 乳幼児期(0歳から就学前)の子どもの表情やことばはおもしろい。保育の専門性を学び、子どもと共に育ち合う保育の魅力を考えてみましょう。	近藤幹生 教授	100
		II 子どもは自然をどのように科学しているのでしょうかー理科教育学からみた子どもの発達ー 子どもは発達に応じて自然を解釈して一人一人の自然観を形成しています。その自然観の形成や変遷の理解を通して子どもの指導を行うことは、指導者にとって重要なことです。この授業では、改めて自分自身の自然・科学について見つけ直してみましょう。	中林俊明 准教授	50
	発達臨床 学科	I 子どもはなぜしゃべれるようになるの?ー発達心理学から考えてみようー 子どもが言葉がしゃべれるようになるまでには、どのような発達の階段を登っていくのでしょうか。言葉がゆっくり成長する子どものお話もします。	廣澤満之 准教授	100
		II 不思議を信じる心理学 UFO、超能力など、私たちの理解を超えているけれど何か意味があるように感じる現象があります。そのことを通して人の心理の特徴を考えてみましょう。	倉澤寿之 教授	100
	家族・地域 支援学科	I 地域の「居場所」ってどうやってつくるの?ー家族・地域支援学から考えてみようー 地域や家族、人々の暮らしのあり方が変化し、つながりが失われてきていると言われます。今回は、赤ちゃんからお年寄りまでがともに過ごす地域の居場所づくりの事例から、地域の支えあいについて考えてみましょう。	森山千賀子 教授	50
		II 幸せって何? ~福祉の視点で生活を見る~ 「普通に暮らしたい」、「できれば「幸せに暮らしたい」、「私らしい」って何? 幸せって何? 生活を通して考えてみましょう。	井原哲人 講師	50
白梅学園短期大学 保育科(共学)	I 虐待を受けた子どもの理解と保育者の役割 子どもとは何かを日本の児童観を紹介して考え、虐待を受けた子どもの言動についての理解を考えます。そして、現代の子ども虐待は何故深刻になっているのか、その背景について考えるとともに、それゆえに、保育者が果たす役割の大きさや意味を探ります。	中山正雄 教授	100	
	II オトナになると何故、えがく・つくるのが苦手になるの?ー子どもの遊びから考えてみようー 子どものえがいたり、つくったりすることの楽しさを、まずは自分が子どもになってみて、楽しんでみましょう。	花原幹夫 教授	50	

※1回目と2回目では、ぜひ異なる学科の授業に参加してみよう！(1回目または2回目だけの参加も可)

対象	新高校3年生、新高校2年生および保護者、先生
定員	事前予約制により定員になり次第、締め切らせていただきます。定員に空きがある場合は、当日の申し込みもお受けいたします。できるだけお早めにお申し込み願います。
申込方法	下記方法により、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、メールアドレス、高等学校名・学年、受講する学科名(体験授業Ⅰおよび体験授業Ⅱ)をお知らせください。
備考	ご不明な点などがあれば、広報課までご連絡願います。[申込・連絡先]Fax.042-346-5652 E-mail.koho2@shiraume.ac.jp Tel.042-346-5618

## 申込方法

<p><b>1 QRコードから予約する</b></p> <p>QRコードを読み取って、申込入力フォームよりお申し込みください(初めての方はテレメールへの登録が必要となります)。</p> 	<p><b>2 本学HPから予約する</b> <a href="http://daigaku.shiraume.ac.jp/">http://daigaku.shiraume.ac.jp/</a></p> <p>オープンキャンパスページより申込入力フォームにすすんでいただきお申し込みください。</p>
<p><b>3 メールで予約する</b> <a href="mailto:koho2@shiraume.ac.jp">koho2@shiraume.ac.jp</a></p> <p>宛てに必要な事項(下記FAX申込項目)を記入のうえ、広報課まで送信してください。</p>	<p><b>4 FAXで申し込む</b> <b>042-346-5652</b></p> <p>本用紙に必要な事項をご記入のうえ、FAXにて送信してください。</p>

## 参加申込書(ファックス送信用)

ふりがな			〒		
氏名			住所		
電話番号			メールアドレス		
高等学校名・学年				現	年生
受講する学科 (○で囲んでください)	体験授業Ⅰ	1. 子ども学科 3. 家族・地域支援学科	2. 発達臨床学科 4. 保育科(短期大学)	体験授業Ⅱ	1. 子ども学科 3. 家族・地域支援学科 2. 発達臨床学科 4. 保育科(短期大学)

ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、本学より資料等の送付に使用する以外、無断で他の目的に使用することはありません。